

第3章 区計画

●「区計画」の推進について

「区計画」は、地区を越えた、区域で取り組む目標として、第1期計画で定めた5つの基本目標を継承し、新たに緑区の「目指す姿」を設定するとともに、これらの「目指す姿」を実現するための「キーワード」を抽出し、地域や区役所、区社協及び地域ケアプラザが目標実現に向けて行う各種事業・取組に対する方向性を提示しています。

「区計画」の推進については、区役所、区社協及び地域ケアプラザは、地域と共に、区域での地域課題の解決に向け、さまざまな取組を行っています。

また、地区別計画も含め、第2期計画での包括的な取組状況の把握や振り返りを「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」や「緑区地域福祉保健推進会議」で実施しています。

5つの基本目標とキーワード

- ◇基本目標1 地域での「つながり」のあるまちづくり
- ◇基本目標2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり
- ◇基本目標3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- ◇基本目標4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり
- ◇基本目標5 「安全・安心・健康」のまちづくり

つながり

人材・担い手

機会・場

情報

安全・安心・健康

(1) 「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」について

第1期計画に引き続き、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」が地区別計画を含めた第2期計画での取組状況の把握や振り返りを行います。また、地区別計画の推進に対しても提言等を行います。

委員は、学識経験者、福祉保健活動団体・事業者からの代表及び一般区民で構成しています。

平成24年度は、2回開催しました。

<平成24年度の開催状況>

【第1回】8月24日

(内容) 平成24年度の推進について
地区別計画、区計画の推進状況報告など

【第2回】3月25日

(内容) 平成24年度推進状況報告と振り返りなど



<第1回委員会の様子>

(2) 「緑区地域福祉保健推進会議」について

区内における地域福祉保健の推進に対する提言などを行う会議です。「第2期緑区地域福祉保健計画 みどりのわ・ささえ愛プラン」についても、「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」で確認した内容について報告を行っています。平成24年度は、9月6日に開催しました。

(3) 区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの取組

次ページからは、区役所、区社協の区計画における主な取組と、地域ケアプラザ・地域包括支援センターが区役所や区社協等と連携して実施した共通の取組について、紹介します。

●区役所の主な取組

緑区役所では、平成24年度は、「安全・安心、みんなにやさしいまちづくり」を基本目標をとし、目標の達成に向け、「安全・安心なまちづくり」、「いきいき暮らせるまちづくり」、「みどりの魅力あふれるまちづくり」の3つの柱を定め、様々な事業に取り組みました。「区計画」の推進においては、こうした様々な事業を実施していくことを通じて取り組みました。以下に、その主な事業の実施状況を紹介します。

(1) 災害に強いまちづくり事業 **つながり** **人材・担い手** **情報** **安全・安心・健康**

緑区全体の危機管理能力を高め、安全で快適に暮らせるまちづくりを進めるため、行政と地域、団体等が連携し、あらゆる危機に対して日頃から備える取組を行いました。

まず、東日本大震災の発生により修正された市の防災計画「震災対策編」なども踏まえ、緑区防災計画「震災対策編」の修正を行うとともに、風水害対策推進事業として、土砂ハザードマップを作成しました。地域防災力の向上としては、災害ボランティアコーディネーター養成講座を7月と10月に開催し、講座修了者を対象とした実践的な訓練を1月に行いました。また、防災資機材取扱い訓練(6月)や防災講演会の開催なども行いました。



<帰宅困難者対策訓練の様子>

さらに、総合防災力を強化するため、7月に交通関係機関等との連絡会を開催し、11月に帰宅困難者対策訓練を行いました。3月11日の緑区総合防災訓練では、地域や防災関係機関などと合同で情報受伝達を中心とした訓練を行い、災害時要援護者対策としては、2月に特別避難場所の開設・受入訓練を行いました。

(2) 交通安全・防犯対策の推進 **情報** **安全・安心・健康**

「安全は区民・地域自らがつくる」という考えの下、交通安全・防犯に関する区民の関心を高め、自主的な活動を推進するための取組を行いました。まず、交通安全対策としては、高齢者向け・児童向けの啓発事業や放置自転車等監視員の配置(区内4駅240日)、スクールゾーン対策協議会(16校)を開催し、防犯活動の推進として、防犯情報メールの配信を行いました。子どもの安全支援としては、子どもの安全に関わる情報を保護者に提供するメール配信システムを、区内の全小学校で運用するとともに、子どもが自ら自分を守る力を身につけるための「CAPワークショップ」を区内小学校で実施しました。

(3) 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進 **つながり** **情報**

2年目を迎えた第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」について、地区別計画の推進では、区役所・区社協・地域ケアプラザの職員で構成する地区支援チームが、地区の情報を交換・共有しながら、各地区の地域主体の生活課題の解決に向けた取組が推進されるよう支援しました。

区計画の推進では、8月と3月に「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」を開催し、地区情報の共有や振り返りなどを行うとともに、次年度に向けた取組の方向性についても議論していただきました。

(4) 生涯にわたる健康づくりの推進 **安全・安心・健康**

「健康横浜 21」に沿い、区民の健康を維持・増進するための取組として、区民や医師会・歯科医師会・保健活動推進委員会等の地域関係団体と協働で、事業の実施や地域支援などの仕組みづくり、意識啓発に取り組みました。

第3章 区計画

健康づくり月間行事（10月）では、緑区民まつり会場で健康チェックや健康相談等を実施し、健康づくり講演会では、女優の荒木由美子さんを講師に迎え、多くの方（373人）にご参加いただきました。また、区役所で行っている「思いやり健康づくりの日」事業は9回実施し、延べ2,306人が参加しました。食生活等改善推進委員会と協働で進める「緑をたっぷり召し上がれ」事業では、「野菜をもっと食べようキャンペーン」やウォーキングなど、食習慣の改善、食育の推進等に取り組みました。



＜緑区民まつりでの健康チェックの様子＞

(5) 高齢者の豊かな暮らし支援事業 **情報** **安全・安心・健康**

高齢者が人生の最後まで「自分らしさ」を失わず、健康で豊かな人生を送ることができるよう、6月に介護予防講演会やウォーキング講座を開催し、11月、12月、3月にはウォーキング講座を開催しました。また、成年後見制度の普及啓発を目的に、7月に映画「エンディングノート」を上映したところ、多くの方（470人）が来場し、好評価をいただきました。その後、「エンディングノート」の作成や相続、遺言、成年後見制度について学ぶ講座を10月と11月に開催したところ、申込数が定員数を大幅に上回ったため、12月に追加で開催し、延べ319人の方に参加していただきました。



＜「エンディングノート」上映会のちらし＞

(6) ひとり暮らし高齢者等の見守り事業 **安全・安心・健康**

ひとり暮らし高齢者等に対する地域での支えあいと見守り体制を充実するため、希望者に対し、定期的に電話・訪問を実施（定期訪問回数約1,500回）しました。また、75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とする見守り活動について、区内全11地区で、民生委員が状況確認のために対象者約1,600人を訪問しました。その結果を踏まえ、民生委員・地域包括支援センター・区役所で振り返りを行いました。

(7) 保育所待機児童対策 **機会・場**

平成25年4月の待機児童解消を目指し、5月に待機児童対策会議を開催しました。平成24年度の待機児童ゼロプランを作成し、2月には待機児童対策会議で、進ちょく状況の報告と目標達成に向けた議論を行いました。そして、25年4月入所に向け、既存保育所の受入枠拡大や保育所と横浜保育室を新たに整備し、受入枠を計172増やしました。一方、保育コンシェルジュは地域子育て支援拠点や親と子のつどいの広場（2か所）に出張し、「保育所基礎講座」「個別相談」を行いました（14回、参加者延べ119人）。

(8) 地域における子育て支援 **人材・担い手** **機会・場** **情報**

核家族化する子育て家庭の育児支援を目的に、緑区内認可保育園主催で、区内の未就学児・保護者が参加できるイベントとして、「あつまれみどりっこまつり」を区内4会場にて開催し、930人の参加がありました。また、地域子育て支援拠点を中心とした子育て支援ネットワーク会議を5月、7月、9月に開催したほか、「0歳児を対象とした赤ちゃん教室」（12か所各10回）、地域ケアプラザと連携した「両親教室」（6か所各2回）を開催しました。

(9) 地域における青少年の育成 **人材・担い手**

平成21年の区制40周年を記念して、区内の小中学生が描いた10年後の緑区の姿「夢みどり50プラン」の実現に向けて、夢みどりリーダー会議を8月と2月に開催すると共に、ふれあい交流事業として、

計76人の小中学生が緑区民まつり等でボランティアの取組を行ったほか、広報よこはまみどり区版に、区内小中学校による「夢みどり記者通信」を毎月連載しました。

(10) 金環日食関連事業 **つながり**

平成24年5月21日の早朝、横浜では173年ぶりとなる金環日食が観測されるため、この機会をとらえ、「移動科学館」（参加者：約500人）や金環日食講演会の開催、「金環日食デコレーションバス」の運行、四季の森公園まつりへのブース出展、「金環日食記念撮影用ボード」の設置、緑区出逢い大作戦「Zooコン」の開催、金環川柳の募集（応募件数：全国から229柳）、食生活等改善推進委員会の協力により開発した「金環（金柑）メニューレシピ」の紹介など16件のイベント等を行いました。



平成24年1月号 平成24年4月号 平成24年5月号

＜広報よこはまみどり区版での広報＞

金環日食当日は、区内17校の市立学校において観察会が行われ、雲に悩まされながらも観測できました。

(11) 地域課題チャレンジ提案事業 **人材・担い手**

住みやすいまち緑区を目指して、福祉保健、環境保全、防災・防犯、まちづくり等地域が抱える様々な課題を解決するため、地域の活動団体と区役所が連携して取り組む「地域課題チャレンジ提案事業」を平成24年度も実施しました。4月には採択事業（14件）について、区役所と団体との間で協定を締結し、12月にはシンポジウムを開催、事業の取組発表を行いました。平成25年度については、新たに自治会等との連携コースを設けて事業の募集を行い、13件の事業が採択され、4月には協定を締結する予定です。

(12) 市民活動の支援 **人材・担い手**

市民活動や地域活動を支援するため、緑区市民活動支援センター「みどりーむ」において、区民と協働で各種講座等を実施しました。平成24年度は、団体の相互交流を目的とした「みどり市民活動交流会」の実施、「団体（仲間）の底チカラを見直そう」などをテーマに、団体運営における活動の活性化や人材育成を目的とした団体運営講座（年3回）などを実施しました。生涯学級講座などでは、講座終了後に参加者が自主グループを結成し活動を続ける例もあり、地域活動参加のきっかけ、活性化につながりました。

●みどりのわ・ささえ愛プラン「区域研修」の開催

区役所、区社協及び地域ケアプラザは、地区別計画・区計画の推進のため、地域と共にさまざまな取組を行っています。「区域研修」は、こうした取組に向けての必要な知識を身につけ、地域と協働する力を育てるため、地区支援チームメンバーを主な対象として、実施したものです。

平成24年度は「郷土史」と「情報発信」をテーマに行いました。



＜区域研修の様子＞



●区社会福祉協議会の主な取組

緑区社会福祉協議会では「区計画」の推進について、区役所及び地域ケアプラザと共に、区域での地域課題の解決に向け様々な取組を行っており、平成24年度の取組の一部を紹介します。

◇基本目標1 地域での「つながり」のあるまちづくり

つながり

- 地区別計画推進に係る地区社協支援計画シートを作成、検討することで地区社協支援につなげました。
- 地域福祉講座補助金を介して、助成を希望する6つの地区社協と協働し、地区に望まれる研修を地域の方々と展開しました。
- 11地区の地区別計画推進への支援を目的に地区別計画推進事業を区役所、地域ケアプラザと協働で行いました。

◇基本目標2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり

人材・担い手

- ボランティア分科会の男性ボランティアサークルと協働し、定年後の男性を対象としたボランティア講座を開催しました。
- 地区ボランティアセンター支援事業を介して3つの地区社協に対して地区社協単位でのボランティア相談窓口の開設・運営に関する支援を行いました。
- 地域及び区域のボランティアコーディネーターの交流とスキルアップを目指し、連絡会と勉強会を開催しました。
- 夏休みの期間を活用し、中・高・大学生のボランティアを募集し、福祉施設等へコーディネートを行うことで福祉への理解と新たな担い手の発掘を進めました。
- ボランティア分科会の手話サークル3団体と協力し、手話を初めて体験する方を対象に講座を開催しました。
- 障がいに関する理解の促進と活動団体への支援者の開拓を目的に、ボランティア入門講座を地域ケアプラザと共催で実施しました。

■男性ボランティア講座の開催

男性ボランティアの新たな担い手の掘り起こしを目的に講座を開催しました。

「ボランティアについて」のお話をはじめ、「傾聴」や「車椅子の操作」について学ぶことができ、ボランティア体験を経て新たな担い手が生まれています。



◇基本目標3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

機会・場

- より適切な拠点運営と団体間の交流促進を図るため、拠点利用者調整会議を開催しました。
- 子育て支援者間の交流促進を図るため、「緑区地域子育て支援拠点 いっぽ」及び区役所と協働し、子育て支援者交流会を開催しました。
- 活動拠点の確保に向け、地区別計画推進委員会等で場に関する情報の集約を実施しました。

◇基本目標4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

情報

- 緑区学齢障がい児の余暇を考える会において夏休み余暇活動の情報を集約、ホームページで情報を発信しました。
- 区社協ホームページをタイムリーな情報提供ができるようリニューアルしました。
- 区社協だよりを年2回（10月、3月）発行し、福祉情報を提供しました。
- 移動に支援を必要とする障がいのある人に対する相談や情報提供などを行いました。
- 移動支援につながる人材育成のためガイドボランティア養成講座を区域・地区域で開催しました。

■ホームページのリニューアル

区社協の関係する福祉情報、ボランティア活動情報の充実を図りました。



・移動情報センター事業の実施

移動に支援を必要とする障がいのある人に対する相談や、情報提供などを行うとともに、移動支援につながる人材を育てる取組も行っています。

3月には東本郷地区で講座を開催しました。



「なにが障がい児者のお手伝いができるかも」「障がいのことを学んでみたい」という方ぜひお気軽にご参加ください。

障がい者ガイドボランティア研修会

「横浜市障害者ガイドボランティア事業」とは、重度の視覚障がいや全身性障がい、知的障がい、精神障がいのある方が外出する時に、必要となる付添い（ガイド）をボランティアが行う事業です。活動には、横浜市からボランティアへ奨励金が支給されます。この事業をより多くの方に知っていただくために、研修会を開催します。研修では、障がいについての基礎知識、外出支援に関する知識や技術を、実習等を交えながら学び、事業概要やボランティア登録についての説明も行います。

日時：平成25年3月12日（火）
13:00～16:00

会場：東本郷地域ケアプラザ（緑区東本郷5丁目5・6）
費用：無料
対象者：障がい福祉に理解・熱意のある18歳以上の方
※動きやすい服装でご参加ください。

人数：先着20名
(申込み期間 2月12日～2月28日 電話かFAXにて氏名・年齢・住所・電話番号をお伝えください。)

【研修カリキュラム】
① 障がい者ガイドボランティアとは？
② 知的障がいの人の暮らし・移動に必要な配慮 など
③ 視覚障がいとは？視覚障がいの者の誘導体験

主催：東本郷地区社会福祉協議会
社福）横浜市緑区社会福祉協議会
共催：横浜市東本郷地域ケアプラザ

申込み・問合せ先
TEL：931-2478
FAX：934-4355

●地域ケアプラザ・地域包括支援センター共通の取組

地域ケアプラザは、市民の誰もが住み慣れた地域において健康で安心して暮らせるよう、地域の福祉・保健活動を支援し、福祉保健サービス等を身近な場所で総合的に提供する施設です。

地域ケアプラザの管理・運営については、指定管理者である社会福祉法人が行っています。

地域包括支援センターは、介護保険法に定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関です。横浜市では、地域ケアプラザ及び市が指定する特別養護老人ホーム（緑区では、「特別養護老人ホーム ふじ寿か園」）に、機能の一つとして地域包括支援センターを設置しています。

緑区内の地域ケアプラザ及び地域包括支援センターの紹介や主な取組は、第1章（→P. 7～14）をご覧ください。ここでは、共通の取組を紹介します。

(1) 地域ケアプラザ・地域包括支援センターのPR つながり 情報 安全・安心・健康

地域の行事等に参加して、地域の身近な相談等の窓口である地域ケアプラザ・地域包括支援センターの事業内容などを積極的にPRし、各地域活動団体と連携を図り、地域情報の共有化を進めています。

10月に開催された「緑区民まつり」では、区内の地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員が集集し、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの利用促進を目的として、事業等のPRを行いました。

＜緑区民まつりでの取組内容＞

・「射的 DE クイズ」

射的(割りばし鉄砲)の的ごとにクイズがあり、地域ケアプラザや地域包括支援センターに関するクイズに回答していただきました。

回答後に、風ぐるま(風車もパンフレットになっているもの)作りをしていただき、景品としてお持ち帰りいただきました。

- ・ 来場者には「地域ケアプラザへようこそ」パンフレットを配布しました。
- ・ ブースの外に写真撮影用の看板を置き、着ぐるみなどを用いて呼び込みやPRを行うなど、来場者に楽しんでいただきました。



(2) 介護予防の取組 つながり 安全・安心・健康

介護予防の取組として、体力維持・向上のために日常生活の中で行える介護予防体操やお口のケア、足指の体操などを、地域ケアプラザ・地域包括支援センターの会場で、また、地域ケアプラザ・地域包括支援センターのスタッフが地域の自治会館等に出向いて、行いました。